

ツリーハウス

水戸工業高校 建築科 三年 鈴木葉音



コンセプト

敷地と建築の融合: 紅葉・楓の大樹を最大限に活かし、樹高に合わせた2階建ての建築計画としました。地盤高を調整することで、1階部分を地下室とし、各居室を配置。2階をリビングとすることでツリーハウスのような**開放的**な空間を実現しました。

自然との共存: シマリスを飼育し、**天窗**からその生態を観察できる空間を設けることで、人間と動物が共生する豊かな暮らしを提案します。

地形との調和: 宅地を人工的に造成するのではなく、自然な地形を生かした設計により、周囲の環境との**一体感**を高めました。

模型写真



動機

子供の**夢**のかなえるためにツリーハウスを作りたいと思った。また近年、都市化が進む一方で、自然との距離が広がっている。ツリーハウスは自然の中での生活を実現し、人々が自然と密接に関わる機会をつくれる。

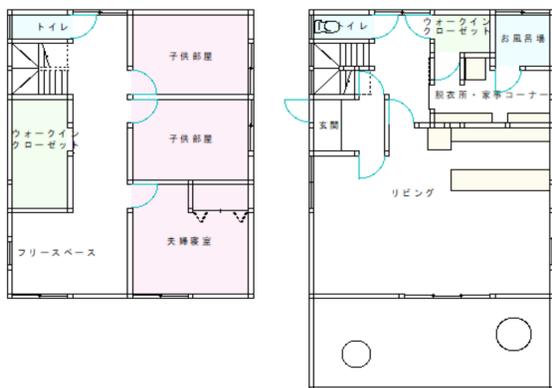
目的

子供のころの夢を形にし、自然と協和した**リラックス**できる空間を作ること。

AI(copilot)がえがいたツリーハウス



平面図と立面図



一階

二階

一階には、子供部屋や夫婦寝室を設けました。東側に配置し**朝日**が昇ると日が入るようにしました。

二階には、大きくベランダを作り、木を通す穴を二か所設けました。

一階部分をもぐらせた理由

通常のツリーハウスは耐震性がなく、**安全面**で不安があります。しかしツリーハウスのように家を浮かせたいと思っています。



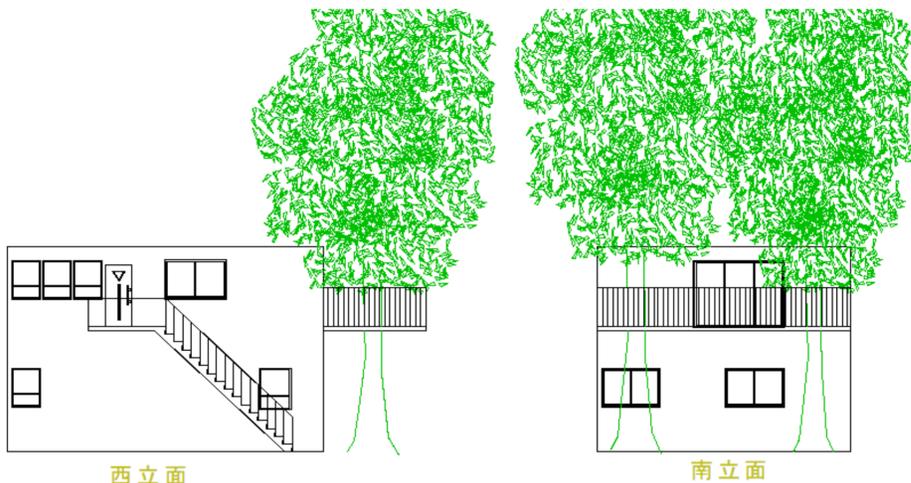
右の住宅のような**オーバーハング**型の住宅はまるで家が宙に浮いているように見えますが普通の**オーバーハング**型住宅では**ツリーハウス**の特徴を持っていません。

そこで、左の住宅のような大きなベランダに木を植えて**ツリーハウス**の雰囲気を出せると思いました。



一階部分を地下に潜らせることで**浮いている**ような演出にしました。

建設予定地



西立面

南立面

